

森のマドンナ！ ヒメユズリハ

増井啓治（植物リサーチクラブの会）

はじめに

六甲山南側の山麓で、大きな木がある森といえば、お宮やお寺の森である。これらの森ではヒメユズリハがよく目にとまる。ヒメユズリハは正月飾りのメ縄のダイダイの下にある緑色の葉っぱとしておなじみである。ヒメユズリハは、暖かい地域の海岸に近い森で見られ、大きな木になると、高さは15メートルを超え、直径も80センチメートルに近い大木となる。花には、花びらがいないため目立たない。実は紺色に白い粉を吹いた楕円形で、雌の木だけに実ができる。葉の表はすべすべだが、葉の裏は白っぽく細かい網目が目立つ。葉が、葉柄から微妙な角度で伸びている様がいとおしい。大きな葉のユズリハに比べてかわいいので、姫の名が付けられたそう。このヒメユズリハは、どのような木たちと森をつくり、その木たちはどのような暮らし方をしているのだろうか、それを知りたいと思った。



調査方法

ヒメユズリハが暮らしているお宮やお寺の森5ヶ所に、15メートル四方の正方形の枠を引いた。そして、何年かその森に暮らしてきたと思われる胸高直径3cm以上の木について、種類と本数、それに胸高直径と樹高を測った。これらのデータから、ヒメユズリハの暮らす森の中では、どんな種類の木が多いのか、どんな暮らし方の木が多いのか、それを考えた。

調査したお宮やお寺の位置とその森の特徴



調査地	神戸市 須磨区 須磨寺	神戸市 灘区 十善寺	神戸市 東灘区 保久良神社	芦屋市 岩園天神	西宮市 越木岩神社
標高(m)	75	130	185	72	110
海からの距離(km)	0.9	2.6	2.3	2.8	3.6
斜面方位	南東	南東	北	南	南
斜面斜度(度)	34	29	0	5	14

結果

1. どんな種類の木が多いか

5ヶ所の森で調査した木について、各々の種類がどれだけ多くの森に出現したか、出現本数が多かった木の種類はなにか、木の高さが高かった木の種類はなにか、幹の太さが太かった木の種類はなにか、幹の断面積合計が多かった木の種類はなにかについて、順位を付けて、上位5位までを次の表に示した。

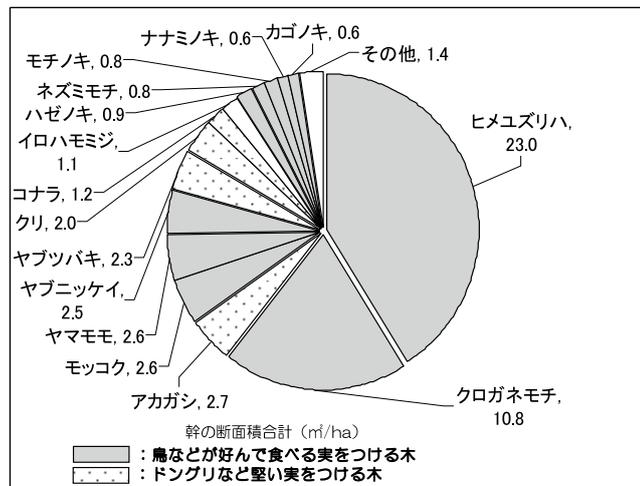
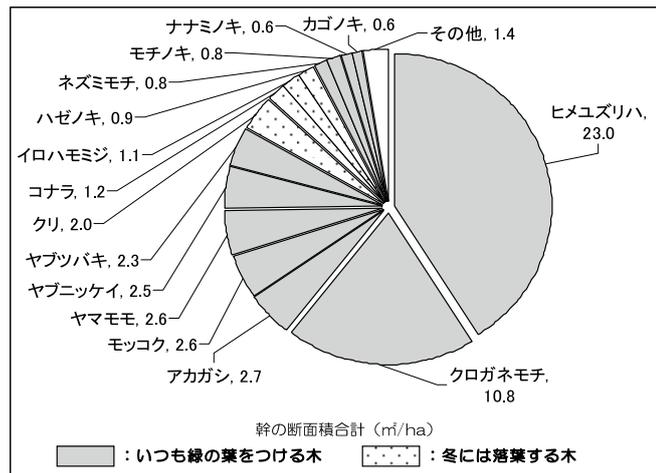
順位	1位	2位	3位	4位	5位	5位	5位
多くの森に出現した木	ヒメユズリハ	ヤブニッケイ	ネズミモチ	クロガネモチ	ヤマモモ	ヤブツバキ	カナメモチ
出現本数をもっとも多かった木	ヤブツバキ	ネズミモチ	ヒメユズリハ	モッコク	クロガネモチ		
木の高さが高かった木	ヒメユズリハ	アカガシ	クロガネモチ	コナラ	ヤマモモ		
幹の太さが太かった木	ヒメユズリハ	クロガネモチ	クリ	ヤブニッケイ	ヤマモモ		
幹断面積合計が大きかった木	ヒメユズリハ	クロガネモチ	アカガシ	モッコク	ヤマモモ		

この表になんでも名前が出てくる木が、調査した森の主役たちだと考えた。その結果、ヒメユズリハ、クロガネモチ、ヤマモモ、ヤブニッケイ、モッコク、ネズミモチ、ヤブツバキなどの木が、六甲山南麓において、お宮やお寺の森をつくっている木たちだとわかった。

2. どんな暮らし方の木が多いか

木には、冬でも緑の葉っぱをつけている常緑樹と冬には葉っぱを落とす落葉樹のふたつのタイプがある。調査した森の木は、どちらのタイプが多いのだろうか。多さを比べるときには、木の本数の多さで比べたり、木の幹の体積の多さで比べたり、木の葉っぱの量の多さで比べたり、いろいろな方法がある。ここでは何年もかけて成長してきた木の幹の体積に注目し、その体積の多さをよく表す幹の断面積で比べてみることにした。各々の木の分量を円グラフにして、常緑樹と落葉樹に色分けした。そうすると幹の断面積の割合で90.5%が、常緑樹であることがわかった。

つぎに、木たちはどうやって森の中に、広がっていくのだろうか。調査した森の木たちの果実を、鳥などに食べられてタネが運ばれるものと、ドングリのような堅い実のものに分けた。そして、さっきと同じように、円グラフにして色分けした。そうすると、幹の断面積の割合で、鳥などに食べられてタネが運ばれる果実をもった木たちが82.9%もあった。



まとめ

このように六甲山南麓において、お宮やお寺の森をつくっている木たちは、ヒメユズリハ、クロガネモチ、ヤマモモ、ヤブニッケイ、モッコク、ネズミモチ、ヤブツバキなどの常緑樹であった。そして、それらのうちの多くのものが、鳥などに果実が食べられてタネが運ばれることで、森の中に広がっていく木たちであることがわかった。

六甲山南麓では、住宅地が山すそまで駆け上がり、その上は急斜面の山腹である。その接線のような位置に、ヒメユズリハの暮らすお宮やお寺の森が点々とある。これらの森は、お宮やお寺の宗教的雰囲気を醸し出すだけではない。生き物たちの生育・生息場所としても役立っている。訪れる人たちにとって、緑、憩い場、生涯学習の場といった生活環境としても重要である。お宮やお寺の森の中にいると、そのように感じる。

六甲山南麓のお宮やお寺の森に出現した木（15m×15mの範囲で、幹直径3cm以上の木を調べた）

木の名前	5つの森それぞれに出現した本数					5つの森のデータをまとめると				
	須磨寺	十善寺	保久良神社	岩園天神	越木岩神社	出現した森の数	出現本数(合計)	最高樹高(m)	最大直径(cm)	幹の断面積合計(m ² /ha)
1 ヒメユズリハ	2	11	6	4	5	5	28	18	57.3	23.0
2 ヤブニッケイ	1	1	4	1	4	5	11	14	44.0	2.5
3 ネズミモチ	7	7	12	4		4	30	7	10.6	0.8
4 ヤブツバキ	24	16			3	3	43	9	20.4	2.3
5 クロガネモチ	7		1	8		3	16	16	52.2	10.8
6 カナメモチ	1	2			1	3	4	5	9.3	0.1
7 ヤマモモ			1	1	1	3	3	15	43.5	2.6
8 アラカシ		8		1		2	9	9	11.1	0.3
9 ヒサカキ	3	2				2	5	6	6.3	0.1
10 イロハモミジ		2	1			2	3	10	30.3	1.1
11 クスノキ	1		1			2	2	13	24.2	0.6
12 モッコク				18		1	18	14	26.5	2.6
13 アカガシ			7			1	7	16	39.4	2.7
14 クロバイ					6	1	6	7	8.6	0.2
15 クリ		2				1	2	14	44.2	2.0
16 ナナミノキ	1					1	1	13	29.6	0.6
17 モチノキ	1					1	1	10	33.3	0.8
18 カゴノキ				1		1	1	11	28.8	0.6
19 ハゼノキ	1					1	1	11	30.8	0.9
20 エノキ			1			1	1	11	14.3	0.1
21 コナラ					1	1	1	15	41.4	1.2
本数の計(本)	49	51	34	38	21					
種類数の計(種)	11	9	9	8	7					
幹断面積の計(m ² /ha)	52.2	41.4	46.4	77.2	61.4					